



# THORENS®

## TD 206 TD 209

### 取扱説明書

- ・この度は、THORENSターンテーブルをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- ・ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも見られるところに保証書と共に大切に保管してください。



## 安全上のご注意



### 警告

ねじを外したり、分解や改造をしないでください。  
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

次のような場所には設置しないでください。  
高温多湿、水滴や水しぶきのある場所、または火や炎の発生している場所での使用はお控えください。火災や感電の原因となります。

万一異常が発生したら電源プラグをすぐに抜いてください。

- ・ 煙や異臭・異音が出た時
- ・ 落としたり、破損したりしたとき
- ・ 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

**電源コードは大切に**  
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



### 注意

付属の電源コードを使用してください。  
他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。電流容量などの違いにより、火災・感電の原因となることがあります。

**壁や他の機器から少し離して設置する**  
放熱をよくするために、他の機器との間は少し離しておいてください。ラックなどに入れる時は機器の天面や背面から少し隙間を開けてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

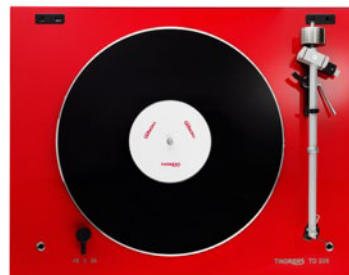
**長期間利用になられないときは**  
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

## 付属品を確認する

ご使用前に下記のものが全て揃っているかご確認ください。

箱から本体と全てのアクセサリーを丁寧に取出します。

取扱説明書(本書).....	1
保証書.....	1
サブプлатターとトーンアーム付本体.....	1
Thorens製ドライブベルト.....	1
プлатター.....	1
アクリル製ディスク.....	1
スペーサー.....	12
カウンターウェイト.....	1
電源とケーブル.....	1
RCAフォノケーブル.....	1
アース線.....	1
7インチレコード用アダプター.....	1
針圧計.....	1
水準器.....	1
トーンアーム、カートリッジ調整用テンプレート.....	1
5mm六角レンチ.....	1



TD 206:  
ダストカバー付属



TD 209:  
ダストカバー別売

今後の搬送用に包装箱を保存してください。

## 組み立てかた

お使いになる前に、付属品の各部品を本機に取り付けてください。

組み立ては、本機の電源をオフにして行ってください。

ターンテーブルを安定した台上に載せ、同梱されている水準器を使用し、ターンテーブルが水平になるように設置してください。

必要な場合は、脚部の高さを再調整してください

→参照 P. 6

### POINT

THORENSのターンテーブルは振動を減衰させる設計になっていますが、高品質のピックアップカートリッジを使用している場合、振動がカートリッジに影響を与えてしまいます。また、ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置くと落下など思わぬ事故につながる可能性があります。必ず、頑丈で安定した台の上に設置してください。

また、“ブーン”というハム音、ピックアップカートリッジへの影響を防ぐため、電気機器(アンプ、レシーバー、CDプレーヤー等)と一定の距離を保って設置してください。

他の機器との距離を確保することにより、ハムノイズを去ることが出来ます。

## 組み立てかた

まずドライブベルトをセットします。

サブプラッターにドライブベルトを掛け、その後モーターのプーリーに掛けます。→図2

この際にベルト、プーリー若しくはサブプラッターに油分が付着しないようご注意ください。付着してしまった場合は、ガラス用清浄剤または純アルコールを含ませた柔らかい布で優しく拭き取ってください。

ベルトのテンションは工場出荷時に調整済みですが、再調整を必要とする際(ベルトのストレッチの弱化的補修)は偏心モーターのサポートリングのネジを付属の六角レンチで緩め、リングを丁寧に回してください。→図2

### 注意

ベルトのテンションを変えると、プラッター速度の最調整が必要となります。→P.27をお読みください

ドライブベルトは1～2年に1度交換が必要となります。  
THORENSオリジナルの交換用ベルトは、THORENSご購入店または全国のオーディオショップにてご購入いただけます。



## 組み立てかたー 2

続いてプラッターとサブプラッターをセットしていきます。

アルミ製のプラッターをサブプラッターに乗せます。  
次に紙製のトーンアーム、カートリッジ調整用テンプレート、  
そして最後にアクリル製ディスクに乗せます。

トーンアーム、カートリッジ調整用テンプレートはアクリル製  
ディスクとの分離の役割をします。→図3

音質の向上とレコードの品質保持のため、フェルト・コルク  
製マットもしくはゴム製のThorensプラッター・マット(オプシ  
ョン別売)の使用をお勧めいたします。

ここでターンテーブルの組み立てはほぼ終了となります。  
トーンアームのカウンターウエイトを調整していきましょう。  
→P.9



図3

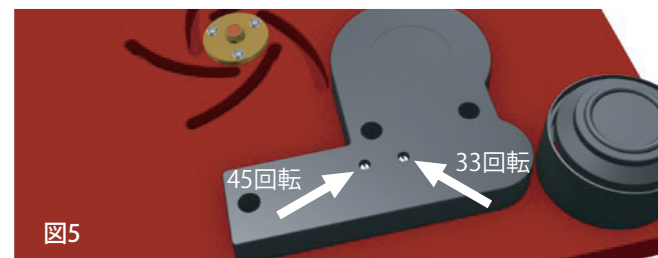
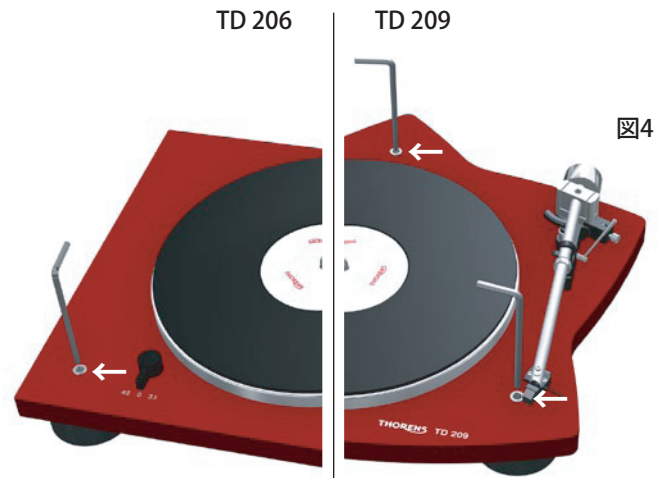
## 組み立てかたー 3

ターンテーブルの高さは三本の脚部を上から、付属の5mm六角キーを使用しネジを回すことで調整できます。→図4

プラッターの速度は速度スイッチユニットの下部にある調整ネジを回して微調整できます。→図5

プラッターの速度は工場出荷時に調整済みです。  
速度の調整はテスト用レコード、若しくはストロボディスクでチェックを行ってください。

また“ベルトテンション”もあわせてご参考ください。→P.25





## 接続-1

電源の接続を行います。

電源アダプターのプラグを図6のソケットに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

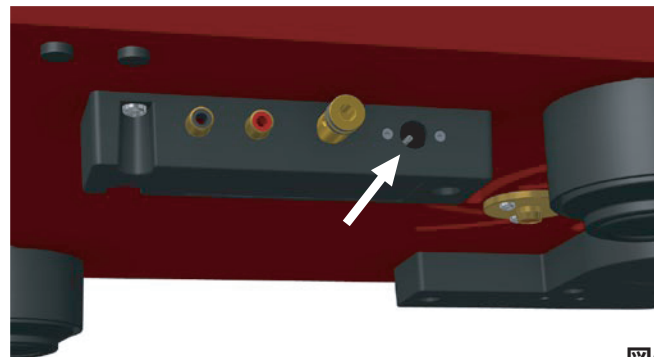


図6

## 接続-2

次にケーブルとアース線を取りつけます。

同梱のRCAフォノケーブルでターンテーブルの出力をアンプのフォノ入力に接続します。全てのプラグが正しく端子に指し込まれているかをチェックします→図7

### POINT

レコードはRIAA基準によりプリエンファシスでカットされるものですので、レコードの再生にはイコライゼーション用のフォノステージが必要となります。

ご使用のアンプにフォノ入力がない場合は、ターンテーブルとアンプとの間に専用のフォノステージ (THORENS/MMシリーズのフォノステージ等) の使用が必要です。

詳しくはTHORENSのディーラーかディストリビューターにお問い合わせください。

次にアース線を取り付けます。

線をターンテーブルとアンプにあるアース端子に接続してください。(→図7に矢印で表示)

ご使用のアンプにアース用ネジがない場合、使用していない入力にアース線を繋いでください。

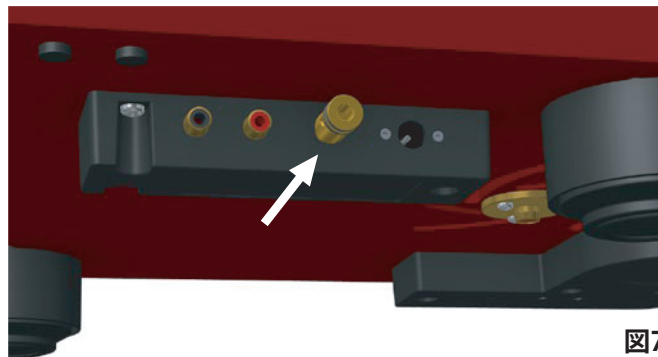


図7

### POINT

音量を上げるとスピーカーから“ブーン”というハム音が大きく聞こえる場合、アース線の接続不良が考えられます。アース線がしっかり接続されているか、再度確認を行ってください。

問題が解決しない場合は、アース線を別のスポットに接続してください。

## トーンアームとピックアップカートリッジ

本機にはTP90トーンアームとAT-95 Bピックアップカートリッジが搭載されています。→図8

トーンアームは工場出荷時に調整済みですが、輸送時の衝撃による故障を防ぐため、トーンアームのカウンターウエイトが外されて、梱包されています。

トーンアームの後端部にカウンターウエイトを回しつけ、針圧の調整を行います→P.10参照

TP90トーンアームは設置穴間の距離が12.5mm(1/2インチ)のものであれば大半のピックアップカートリッジが使えます。ピックアップカートリッジを接続するには、四色のカートリッジのコネクタをカートリッジの端子に押しつけます。もしカートリッジの端子に色が付いていない場合は、下記のように接続を行ってください。

- R 右チャンネル(信号) →赤
- G 右チャンネル(アース) →緑
- L 左チャンネル(信号) →白
- G 左チャンネル(アース) →ブルー

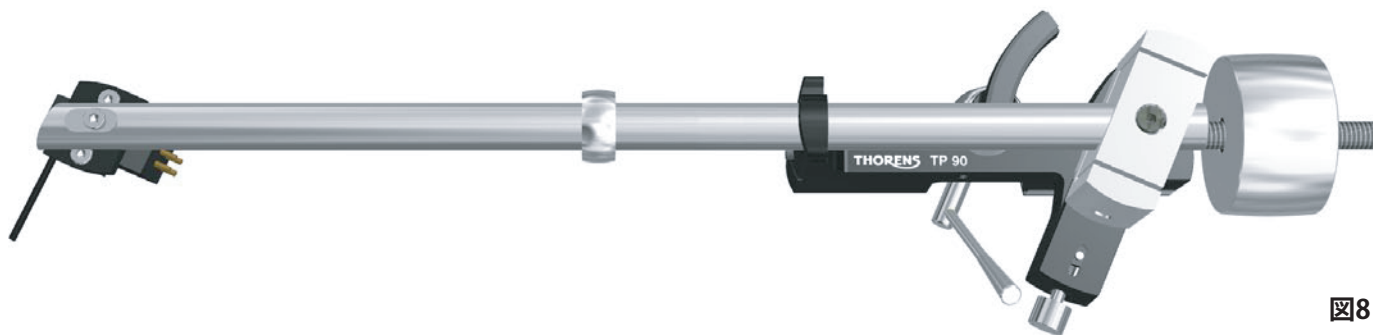


図8

## 針圧の調整

針圧はトーンアームのカウンターウエイトの位置(図9矢印部分)で調節できます。

カウンターウエイトがカートリッジに近ければ近いほど、針圧が重くなります。

正しい針圧は付属の針圧計を使用して調整できます。

- ①まず、トーンアームリフトを低め、トーンアームをプラッターの上まで持っていきます。
- ②ピックアップカートリッジの針を針圧計上の合わせたい針圧の数字上に降ろします。
- ③針圧計の左右両端がシーソーのようにつり合えば、針圧が合っています。

### ご注意

この手順を行う際は、必ず針の保護カバーを外してください。また、針先を損壊しないよう慎重にゆっくり行ってください。

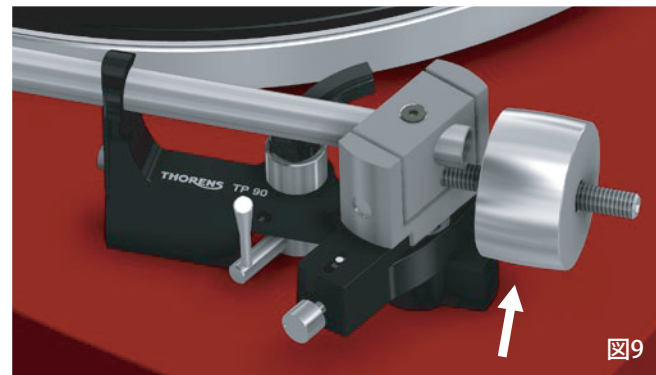


図9

TP90/AT95B組み合わせの推奨針圧の範囲は18-20mN(1.8-2.0g)となります。

トーンアーム管の中部辺りにあるリングは外さないでください。(P.9/図8参照)  
このリングは振動緩衝器として、元の位置でしか機能しません。

## アンチスケーティング力（バイアス）

針の摩擦とカートリッジの耐力の相互作用によってトーンアームをレコードの中心部へ引き寄せる力が作りだされます。これをスケーティング力と呼びます。この力はアンチスケーティング力で相殺できます。この力はTD90の場合、トーンアームに内蔵のマグネットによって出されます。

アンチスケーティング力は工場出荷時に調整済みです。必要があれば、下記の方法で再調整できます。

①アンチスケーティング力調整ネジは、反時計方向へ調整用ネジを回すと上がり、時計回りで下がります。調整ネジの上にある白い点は設定値を表示します。→図10

②必要なアンチスケーティング力の値は使用しているピックアップカートリッジによって異なります。カートリッジを別のタイプのものに変更するとき、テスト用レコードを使って必要なアンチスケーティング力の値を決めてください。



図10

## トーンアームの追加調整

トーンアームのヘッドシェルでは  $\pm 2.5$  mmのオーバーハングの調整が出来ます。  
オーバーハングの調整のために、ヘッドシェルを固定するネジを緩め、ヘッドシェルを必要に応じて前後に移動させます。

トーンアームの後部にあるネジでは、 $\pm 3$  mmのオーバーハングの追加調整と $\pm 5$ 度の方位調整が出来ます。  
ネジは軸受け箱の上部にあります。  
2 mmの六角形キーで緩めます。→図11

縦のトラッキング角度 (VTA) はトーンアームの上げ下げで調整できます。P.13参照

### ご注意

調整後、ネジを締めすぎないようにご注意ください。

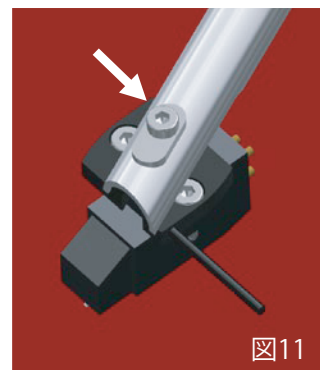


図11



図12

## トーンアームの追加調整-2

縦のトラッキング角度 (VTA) はスペーサーによりアーム全体上げることで調整できます。

トーンアームの裏面にある二つの止めネジを緩め、必要に応じてスペーサーを入れ高さを調節します。→図13  
そして締めネジを再度締めます。

VTAを変えると、トーンアームリフトの再調整が必要となります。1.5mm六角形レンチでトーンアームリフトのネジを緩め、リフト全体を丁寧に上下させ、高さ調節を行ってください。→図14

トーンアームは必ずプラッターの表面と平行になるように置いてください。

VTAまたはトーンアームリフトの高度の微調整でも大きな影響をもたらすことがあります。

どの変更を行っても、リフトを上げた時は針先とレコードの間に、リフトを下げた時はトーンアームとリフターカートリッジとレコードとの間にリフトが関わる場合も、トーンアームリフトパッドとトーンアーム管との間にリフトが関わらない場合も、1mm以上の間隔があるように調整を行ってください。

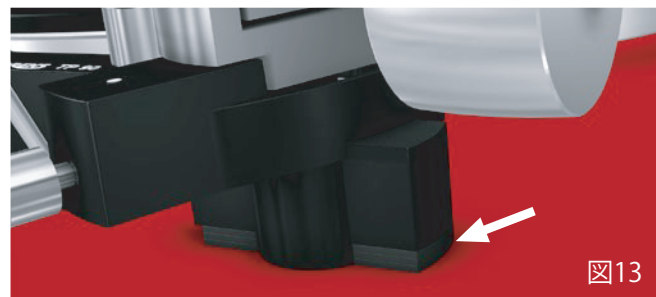


図13



図14

## 操作方法

いよいよレコードを再生してみましょう。

ON / OFFスイッチはターンテーブル台座の前部の左コーナーにあります。→図15

このスイッチは速度選択キーでもあり、速度を33 1/3rpm(LP用)と45rpm(シングル用)の2つの速度選択ができます。中間部の0が“OFF”位置となります。

レコードを再生するため、まず適切な速度を選択して、ターンテーブルの動作を開始させます。

そして、トーンアームリフト(図16)のレバーを上げ、ピックアップカートリッジを演奏したいレコード位置の上まで移動させトーンアームのリフトを下げてください。

本機にはオートシャットオフ機能が在りませんので、カートリッジがレコードの最終溝に到達したら、トーンアームリフトを上げ、トーンアームをアームレストに戻し、ターンテーブルのスイッチをOFFにしてください。

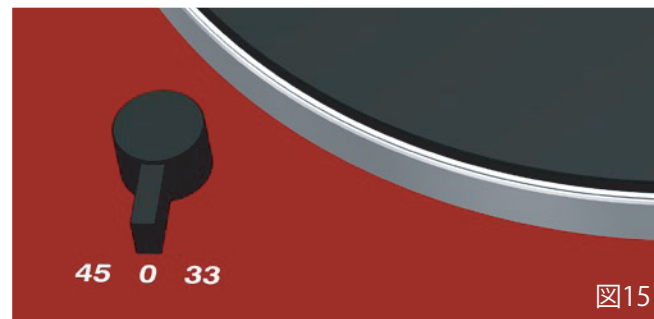


図15

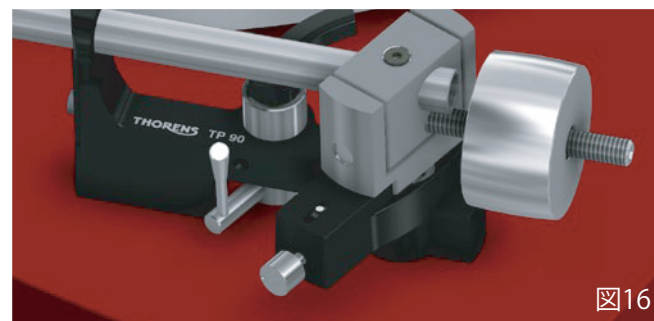


図16



## 製品仕様

	TD206	TD209
操作モード	手動	手動
ドライブシステム	ベルトドライブ(フラットベルトをサブプラッターに巻く)	
モーター	サーボ制御のDCモーター	
速度	33 ⅓, 45 rpm	33 ⅓, 45 rpm
調整範囲	± 5 %	± 5 %
速度変更	Electronic	Electronic
プラッター	0.9 kg (アルミニウム、アクリル)	0.9 kg (アルミニウム、アクリル)
電源	External plug-in power supply, 12 V DC/AC, 6 W min.	External plug-in power supply, 12 V DC/AC, 6 W min.
寸法(W x H x D)	475 x 125 x 370 mm	475 x 125 x 430 mm
重量	5.6 kg	4.7 kg
トーンアーム	Thorens TP 90	Thorens TP 90
有効長さ	232.8 mm (9.1")	232.8 mm (9.1")
オーバーハング	17.8 mm (variable)	17.8 mm (variable)
オフセットアングル	23.6° (fixed)	23.6° (fixed)
カートリッジ有効質量	11 g	11 g

※技術規格は予告なしに変更する場合があります。

※ドイツ製

# カスタマーサービス

ご購入されたThorens社製ターンテーブルについて、**ご質問**  
**ご不明点等**ございましたら、お近くのThorensディーラーまた  
ディストリビューターによるカスタマーサービスを受ける  
ことができます。

また、ご購入の製品をThorensのウェブにご登録していただ  
くと、不定期で最新情報・会員様のみに公開されるスペシャル  
情報をお送りさせていただきます。（英文となります。）

Thorensウェブサイト

**[www.thorens.com/register](http://www.thorens.com/register)**

アクセスの際、製品に同梱された登録カードが必要となります。

トーレンス日本国内代理店

**株式会社バラッド**

東京都世田谷区松原1-39-17-1F

TEL 03-3324-4260(平日9:30~18:30)

FAX03-3324-4261

MAIL [info@ballad.co.jp](mailto:info@ballad.co.jp)